

ビロードモウズイカ

Verbascum thapsus

ゴマノハグサ科

名前の由来

手触りがビロード（絹、木綿、毛などの表面を毛ばだたせた布地）のようで、花の中心にある雄しべ（雄蕊）に毛がびっしり生えている様子から名付けられた。漢字名：天鷲絨毛蕊花



ビロードモウズイカ

形態的特徴

高さ1〜2mほどで直立する。全体が淡い緑色で、黄白色の細かい毛（星状毛）を密生し、ビロード生地のような厚みと手触りがある。葉は披針形で、基部は茎に沿って下に流れて狭い翼になる。花は径2cm程で黄色く、深く切れ込んで5枚の円い花弁状の裂片に分かれる。茎上部に多数の花がつき、50cmほどの総状花序になる。雄しべの柄（花糸）に毛が密生し、それがこの植物の名前の由来になった。

類似種：特にない。



ビロードモウズイカ



ビロードモウズイカ。花の中心部にも毛が密生



ビロードモウズイカ。花穂

生活サイクル

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|----|----|----|-------|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 開花期 | | | | ■■■■■ | | | | | | | | |
| 結実期 | | | | ■■■■■ | | | | | | | | |

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
ワシ・タカ
鳥類

生育環境・分布

道端や荒地などに生える。

分布：国外分布は、ヨーロッパ・地中海沿岸原産。南北アメリカ、オーストラリア、アジアに広く帰化している。

国内分布は、日本全土。

北海道内分布は、根室以外の全道で確認されている。

十勝地方では、道端や荒地などに生える。

生活史

開花時期：7～10月中旬

開花までの年数：2年

寿命：2年草

他生物との関わり

花には虫が訪れる。



ビロードモウズイカ。背が非常に高くなっている

興味深い話

■ビロードモウズイカの全草に生える細かい毛は星状毛とよばれ、虫眼鏡で見ると同じ場所から何本もの毛が出ていてヒトデのようになっているのが分かる。

■明治年間の初期に花卉として導入され、ニワタバコの名で栽培されたものが各地で逸脱し、野生化したという。



ビロードモウズイカの葉の表。毛が密生する



ビロードモウズイカの葉の裏にも毛が密生する

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(鳥水辺)
類

(葦原樹林)
鳥類
ワシ・タカ

参考文献

「日本帰化植物写真図鑑」清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七 全国農村教育協会 2001

「北海道帰化植物便覧 2000年版」五十嵐博 北海道野生植物研究所 2000

「花のおもしろフィールド図鑑 夏」ピッキオ 実業之日本社 2001

「北海道植物図譜」滝田謙讓 自費出版 2001